

シチズンプラザ跡地における スケートリンク整備に関する調査検討書（案）

高田馬場スケートリンク存続を願う会

2020 年 6 月

はじめに

東京都におけるアイススケート競技者を取り巻く環境は、スケートリンクの閉館が相次いだことから、現在通年型アイススケートリンクとして営業している施設がシチズンプラザを含めて 4ヶ所のみとなる等、非常に厳しい状況となっています。

一方、東京都内のアイススケート競技者数は増加傾向にあるため、どのように練習の場を確保するかが競技選手の大きな課題となっております。

本来スポーツには人間の可能性の極限を追求するという側面があり、このような競技スポーツは、自らの能力と技術の限界に挑む活動であると同時に、特に競技スポーツに打ち込む選手のひたむきな姿や高い技術は、人々のスポーツへの関心を高め、夢や感動を与えるなど、活力ある健全な社会の形成にも大きく寄与するものです。

現在、シチズンスケートリンクには約 200 名のクラブ生が所属する他、大学生約 140 名、フィギュアスケートスクール生約 600 名、大人スケーター100 名が日常的にリンクを利用し、それぞれが目標をもって日々努力を続けております。

しかし、リンクの閉鎖により、これら多くの選手、愛好家の練習場所、活動場所が失われてしまうということになります。

また、シチズンプラザは長年にわたり、東京都民のスポーツ・レクリエーションの場、スポーツを通じた地域の人々の交流の場、地域の集客装置として重要な役割を果たしており、スケートリンクの存続は下記のような大きな意義があります。

【スケートリンク存続の意義】

- ① 高付加価値な魅力溢れる住環境の実現・居住者の満足度の向上
- ② スケート競技者の技術力向上への寄与
- ③ 東京都民の健康増進・子どもたちの体力づくりへの寄与
- ④ 賑わいと個性あるまちづくりへの寄与
- ⑤ 地域経済発展への寄与

以上を踏まえ、シチズン跡地における再開発においては、スケート競技者の練習の場、地域の人々のスポーツ・交流の場であるスケートリンク機能の導入についてもご検討いただき、未来のオリンピック選手を目指す子どもたちの夢や東京都民の絆を未来に繋いでいけるよう願います。

本調査検討書（案）は、シチズン跡地におけるスケート整備の可能性について検討するための基礎資料とすることを目的に、調査・検討を行ったものです。

東京都民のみなさま、関係機関のみなさまには、本会の活動にご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

2020 年 6 月

高田馬場スケートリンク存続を願う会

I. シチズンプラザ跡地整備におけるスケートリンク導入に関する諸条件の整理

1. 都内スケートリンクの営業状況

(1) 常設リンク

東京都内のスケートリンクは減少の一途をたどり、1990年には都内に11か所あった常設スケートリンクが、現在、シチズンプラザ（新宿区）、明治神宮外苑（新宿区）、ダイドードリンコ（西東京市）、東大和（東大和市）の4か所のみの営業となっている。

リンク一覧		1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
県	住所	H02	H03	H04	H05	H06	H07	H08	H09	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
東京	江戸川区東篠崎町	S57/12																														10-05
東京	渋谷区神南	S39/10																		2005/2	開鎖											
東京	北区王子	S50/10					1993/9	開鎖																								
東京	豊島区上池袋	S35					1993/5	開鎖																								
東京	後楽園	S48					1993/4	開鎖																								
東京	港区高輪	S37					1991/3	開鎖																								
東京	江東区辰巳																															
東京	新宿区麁ヶ丘町	S38																														
東京	新宿区高田馬場	S50/9																														
東京	西東京市東伏見	S59/8																														
東京	東大和市桜ヶ丘						H05/4																									
東京	昭島市	S61/10																		2006/3	開鎖											
東京	青梅市河辺	S39					1992/?	開鎖																								
東京	練馬区向山																															
東京	稲毛市矢野口																															
神奈川	横浜市神奈川区広台	S26/6																														
神奈川	横浜西区	S49/10																														
神奈川	横浜市港北区新横浜	H02/10																														
神奈川	横浜市中区新港																															
神奈川	相模原市弥栄	H03/1																														
神奈川	横浜市長楽区奈良町	S55/12																														
神奈川	愛甲郡愛川町田代	H02/11																														
神奈川	海老名市	?					1991/3	開鎖																								

図1 東京都・神奈川県のスケーティングリンク数の推移

出典：http://flip-flop.world.coocan.jp/Club_member.html#4

(2) 仮設リンク

上記の他、東京ミッドタウン（港区）、としまえん（練馬区）等商業施設内の仮設リンクとして冬季期間中営業するリンクが6か所存在する。

また、江戸川区スポーツランドは屋内型スケートリンクであるが、10月から5月末までの営業で、夏季期間中はスイミングプールとして利用されている。

Ⅰ. シチズンプラザ跡地整備におけるスケートリンク導入に関する諸条件の整理

表 1 東京都内スケートリンクの営業状況

名 称	営業期間	営業時間	利用料金	所在地・最寄駅
明治神宮外苑アイススケート場	常設	平日 13:00～18:00、 土日祝日 10:00～18:00	高校生以上 1,370 円、中学生以下 950 円、貸靴料 520 円	東京都新宿区 国立競技場駅、千駄ヶ谷駅
ダイドードリンコアイスアリーナ	常設	貸切状況により異なる	おとな 1,330 円、こども（中学生以下）700 円、貸靴料／おとな 510 円、こども（中学生以下）310 円	東京都西東京市 東伏見駅
東大和スケートセンター	常設	14:00～17:45	高校生以上 1,330 円、中学生以下 700 円、貸靴料／高校生以上 510 円、中学生以下 310 円	東京都東大和市 東大和駅
江戸川区スポーツランド	2019 年 10 月 1 日～ 2020 年 5 月 31 日	平日 9:00～18:00、 土日祝 10:00～18:00	大人 520 円、こども 320 円	東京都江戸川区 新小岩駅・篠崎駅
としまえん（仮設）	2019 年 12 月 1 日～ 2020 年 3 月 1 日	平日 10:00～17:00 10:00～19:30	アイススケートセット券（入園料・滑走料・貸靴料込み）大人 2,100 円 子ども 1,600 円	東京都練馬区 豊島園駅
よみうりランド（仮設）	2019 年 12 月 1 日～ 2020 年 3 月 1 日	平日 16:00～20:30、 土日祝日 10:00～20:30	滑走料 18 歳以上 600 円・中高生 500 円・こども（3 歳以上）300 円、貸靴料 600 円（入園料別途）	東京都稲城市 京王よみうりランド駅
東京スカイツリータウン（仮設）	2020 年 1 月 4 日～3 月 8 日	月～木曜 11:00～20:00、金・土・日・ 祝日 11:00～21:00	高校生以上 1,600 円、中学生以下 900 円（貸靴料込）	東京都墨田区 とうきょうスカイツリー駅、押上駅
三井ショッピングパークららぽーと豊洲（仮設）	2019 年 12 月 6 日～ 2020 年 2 月 16 日	平日 14:00～21:00、 土日祝日 11:00～21:00	利用料 1000 円、4 歳から小学生までは 600 円、貸靴代は別途 500 円。	東京都江東区 豊洲駅
二子玉川ライズ（仮設）	2019 年 12 月 14 日 ～2020 年 3 月 1 日	平日 13:00～19:00、 土日祝日 11:00～19:00	大人 1,700 円、学生（中・高・大）1,500 円、こども 1,200 円（税込）	東京都世田谷区 二子玉川駅
東京ミッドタウン（仮設）	2020 年 1 月 7 日～ 3 月 1 日	11:00～22:00	大人（高校生以上）月～金曜 2,000 円、土・休日 2,500 円 こども（中学生以下）月～金曜 1,500 円、土・休日 2,000 円	東京都港区 六本木駅

2. アイススケート利用のニーズの把握

(1) スケート選手の練習場としてのニーズ

1) フィギュアスケート選手数の推移

羽生結弦選手等のスター選手を数多く抱えるフィギュアスケートは、日本で最も人気のあるスポーツの一つとなっており、国内のフィギュアスケート選手数も増加傾向にある。

中でも、東京都及び神奈川県は著しく増加傾向にあり、2018年度の選手登録者数は2005年に比べて2倍以上に増加している。

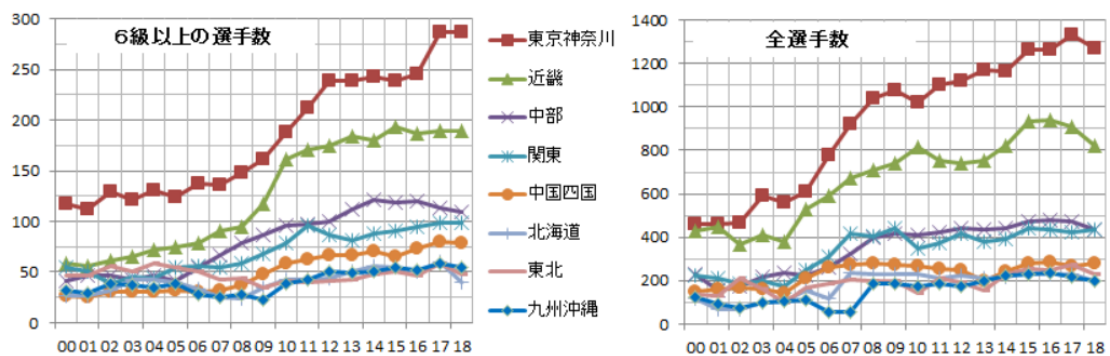


図2 フィギュアスケート選手数の推移

出典：http://flip-flop.world.coocan.jp/Club_member.html#4

2) スケート選手の練習場としてのニーズ

現在、東京都内におけるスケート選手の通年練習場は、シチズンプラザの他、明治神宮外苑、ダイドードリンコ、東大和の4か所のみである。

上記のスケートリンクはスケートクラブを設置し、深夜早朝の貸切時間帯にフィギュアスケート競技者の練習場としてリンクを開放しており、スケート競技者の技術向上に寄与している。

現在、各スケートクラブの定員はどこも定員数を満たしているため、シチズンプラザ・スケートリンクの閉鎖により、約200人のシチズンスケートクラブ生の練習場をどう確保するかが課題となる。

(2) レジャー・スポーツ利用のニーズ

レジャー白書（公益財団法人日本生産性本部余暇総研発行）によると、レジャー・スポーツとして、アイススケートを1年間に1回以上行う人の割合は2.3%、1人あたりの年間平均活動回数は3.3回である。

上記の数値を基に、スケートリンクのレジャー・スポーツ利用ニーズを試算すると、年間約12万8千人の利用者数が見込まれる。（商圏人口：約428万人、参加率：日常利用者数を差し引き1.5%で試算、活動回数：2回で試算）

表2 商圏人口の算出

区 域	区	人 口	商圏人口
新宿区以北・以西	練馬区、豊島区、新宿区、文京区、北区、荒川区、板橋区、中野区、杉並区	3,725,213	2,235,127 (競合率 60%とし、算出。)
他リンクの商圏と重複する地域(東京都南部)	大田区、世田谷区、渋谷区、品川区、目黒区、千代田区、中央区、港区	3,128,772	625,754 (競合率 20%とし、算出。)
他リンクの商圏と重複する地域(東京都東部)	足立区、葛飾区、江戸川区	1,837,224	459,306 (競合率 25%とし、算出。)
他リンクの商圏と重複する地域(東京都西部)	東京市部	4,225,504	422,550 (競合率 10%とし、算出。)
埼玉県南部	川口市、戸田市、志木市、和光市	910,113	546,068 (競合率 60%とし、算出。)
商圏人口			4,288,805

※人口：2020年5月1日現在

表3 レジャー白書によるアイススケートの参加率

年	参加率 (%)	年間平均活動回数 (回)	冬季オリンピック
2002	2.7	4.7	ソルトレイクシティ
2003	2.6	2.7	
2004	2.4	4.5	
2005	2.0	2.2	
2006	2.5	1.7	トリノ
2007	2.2	4.8	
2008	1.8	1.7	
2009	2.7	2.8	
2010	2.1	4.9	バンクーバー
2011	1.7	9.4	
平均	2.3	3.3	

3. シチズンプラザ・スケートリンクの利用状況

(1) 日常的なリンク利用者の現状

シチズンスケートクラブに所属するフィギュアスケート選手 200 人が毎日利用する他、仕事帰りにリンクを利用するスケート愛好家も多く、平日でも 1 日延べ約 400 人がリンクを利用している。

また、子どもから大人まで幅広い層を対象としたスケート教室が開催されており、約 600 人のスケート教室生が、週 1 回以上リンクを利用している。

表 4 日常的なスケートリンク利用者数

区 分						人数（人）
フィギュアスケート						計 1,037
シチズンクラブ生 ※早朝・夜間リンク貸切時間帯を含め、毎日リンクを利用						200
学生スケーター ※早朝・夜間リンク貸切時間帯を含め、毎日リンクを利用						137
立教大学	30	東京大学	26	青山学院大学	18	
学習院大学	17	お茶の水女子大学	14	東洋大学	11	
明治大学	3	学習院大学	3	早稲田大学	2	
上智大学	2	法政大学	2	共立大学	1	
慶応大学	1	中央大学	1	日本大学	1	
津田塾大学	1	東京外国語大学	1	大東文化大学	1	
東京理科大学	1	日本女子大学	1			
生涯スポーツとして取り組む成人スケーター ※週数回、一般滑走時間帯にリンクを利用						100
スケート教室生（アダルトクラス・ジュニアクラス）※スケート教室に参加し、週 1、2 回リンクを利用						600

(2) 貸切利用の現状

早朝及び深夜の 1 日約 11 時間の時間帯については、貸切（専用）時間帯として利用されている。

貸切時間帯には、シチズンスケートクラブ（フィギュアスケート）の他、アイスホッケーチーム、スピードスケートチーム（東京都スケート連盟）、スケートサークル等がリンクを貸切利用しており、その利用率は、ほぼ 100%である。

(3) 近隣小中学校等の団体利用の現状

近隣学校、各種団体等が校外学習の場、スポーツレクリエーション拠点として利用している。
2019 年 2 月中旬から下旬の団体等による利用は、下表に示す通りである。

表 5 近隣学校の校外学習、各種団体等利用状況（2 月中旬～下旬）

日 時	団体名称等	人数（人）
2 月 11 日（日）12：00～14：00	S 園野外活動部	25
2 月 16 日（日）12：00～14：00	T 区第 11 地区青少年育成委員会	180
2 月 16 日（日）13：00～16：00	Y 式クラブ	25
2 月 18 日（火）12：00～14：30	T 学園専門学校	20
2 月 18 日（火）13：00～15：00	G 院女子高等科	45
2 月 19 日（水）12：00～14：30	T 学園専門学校	20
2 月 20 日（木）12：00～14：30	T 学園専門学校	20
2 月 23 日（日）12：00～14：30	O 地区育成委員会	140
2 月 29 日（土）12：00～15：00	N 区青少年育成第六地区委員会	90

(4) その他レジャー・スポーツ利用

シチズンプラザ・スケートリンクは、JR 山手線及び東西線高田馬場駅から徒歩 500m に位置し、利便性が高いため、週末には東京都下及び近県からの来訪者も多く、多くの利用者が賑わう。

II シチズンプラザ跡地におけるスケートリンク整備・運営計画（案）

1. スケートリンク整備・運営の課題及び基本方針

課題① 後背部の集合住宅との調和

シチズンプラザ跡地における再開発においては、伝統あるスケートクラブを有するアイススケートリンクと新たに導入される集合住宅等との一体的な整備の推進により、他に類のない高付加価値な魅力ある環境を創出することが可能である。

そのためには、後背部の集合住宅と調和した意匠・外観のスケートリンク整備を推進するとともに、集合住宅の居住者の日常的なスポーツレクリエーションの場、スポーツレクリエーションを通じたコミュニティの場として活用できるよう、スケートリンクの運営方法等について検討し、居住者の満足度の向上を図ることが求められる。

【整備・運営の基本方針】

- ・ 集合住宅と調和した建物意匠の検討
- ・ 集合住宅の居住者が利用しやすい運営方法の検討
（居住者向けスケート教室の開催、居住者用滑走バスの検討 等）

課題② サステナブルな事業の推進

長きにわたり新宿区民、都民に親しまれてきた伝統あるスケートリンクを未来へ継承していくためには、継続性のある事業を推進することが求められる。

そのためには、建設コスト等の初期投資を低減するとともに、運営コストを低減するための設備等の導入、集客方法やリピート客獲得のための取り組みの実施により事業収入の増大を図ることが求められる。

【整備・運営の基本方針】

- ・ 建設コストの低減
（施設の多目的利用による必要最小限の施設整備、建設コスト低減を図る工法の検討 等）
- ・ 運営コストの低減を図るための設備等の導入
（太陽光発電システムの導入、屋上緑化や高反射材等利用による断熱性の向上、二酸化炭素等自然冷媒を用いた製氷システムの導入 等）

- ・ **アイススケートへの興味の入口となる仕組みの導入**（各種教室の開催、レジャー感覚で気軽に立ち寄った利用者等を対象としたワンポイントレッスンの開催、周辺小学校・団体の校外活動等の誘致 等）
- ・ **効果的な情報の発信**
（HP・SNS 等を活用した効果的な情報の発信、ターゲット層分析に基づいた営業時間・料金プラン等の設定 等）
- ・ **リピート客獲得のための仕組みの導入**
（バースデー・ショー、ハロウィン・ショー、クリスマス・ショー等のイベントの開催等による「ここでしか味わえない特別な体験・空間」の演出、回数券等リピーター向け利用料金の検討 等）
- ・ **通年型利用促進のための仕組みの導入**
（スケートクラブ化のさらなる強化、「友の会」システムの継続 等）

課題③ 地域と一体となったまちづくりの推進

対象地は、高田馬場駅から約 500 メートル（徒歩約 8 分）の距離に位置することから、スケートリンクを訪れる利用者が帰りにショッピングや飲食を楽しむ「集客装置」として、地域で期待されてきた。

また、集合住宅の新たな居住者が地域に受け入れられ、地域に溶け込んでいけるよう、本再開発が地域と一体的なまちづくりに寄与していくことが求められる。

こうした地域の期待に応えるためには、これまで以上に集客性の高い施設運営を目指すとともに、関連機関等と連携した取り組みを実施することが求められる。

【整備・運営の基本方針】

- ・ **周辺小学校・団体等との連携**
（周辺小学校・団体のスケート教室の開催 等）
- ・ **自治会・商店街等との連携**
（近隣住民向けスケート教室の開催、ポイント等共催事業の実施 等）
- ・ **集客性を高める取り組みの実施**
（各種イベントの開催等利用者に魅力的な仕組み等の検討、効果的な情報発信 等）

2. スケートリンク施設計画

スケートリンク施設整備にあたっては、本施設が特殊な設備、機械などの多い施設となる。このため、作業効率だけでなく、安全性にも十分配慮し、利用者が立ち入ることのできるスペースと、立ち入ることができないスペースを分離する。

スケートリンクに整備する諸室等については、事業採算性及び利用者の利便性を考慮して必要最小限の下記施設を導入する。諸室の多目的利用により、最小限のスペースの確保、整備が可能となるよう検討する。

また、利用者にとってわかりやすい動線に配慮し、目的地への移動が容易に行われるよう諸室を配置する。

表6 リンク諸施設（案）

エリア	施設	概要
利用者	ラウンジ、トイレ	自動販売機、テーブル、イス、コインロッカー
	メインリンク	30×60m 国際規格
	貸靴室・放送室	2,000 足程度を想定
	更衣室	
	トイレ	
管理	事務室	事務室
	製氷車庫	製氷車 2 台分のスペース
	電気室、機械室	電気設備や製氷設備
	倉庫	競技備品、メンテナンス用具など
延べ床面積		3,000～3,500 m ²

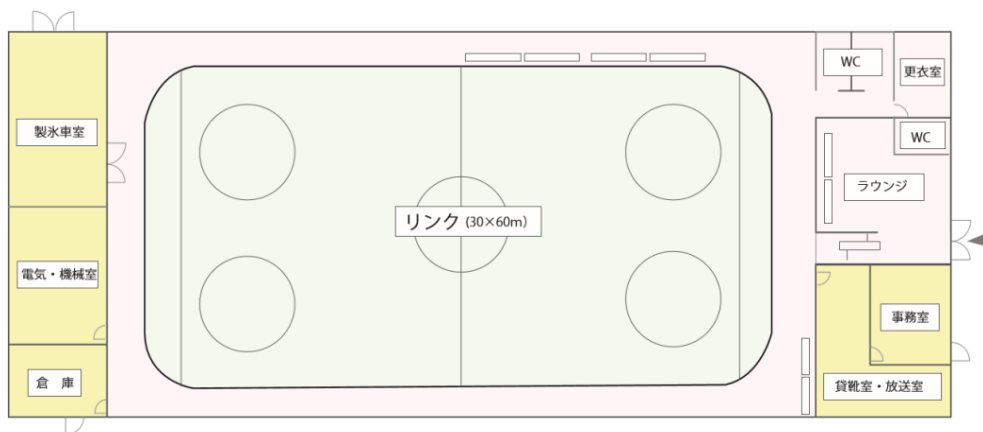


図3 スケートリンクイメージ平面図

3. スケートリンク整備概算工事費の算出

スケートリンクの建設工事については、他スケートリンク事例及び「鳥取市スケートリンク検討委員会報告書（案）」を参考に、下記の通り算出した。

■スケートリンク建設工事費 一式 1,100,000（千円）

・延べ床面積：約 3,200 m² 想定

【国際規格スケートリンク（60m×30m）、ラウンジ、事務室、貸靴室、製氷車室、倉庫、電気・機械室、トイレ、更衣室】

表 7 スケートリンク整備概算工事費

規 模		建設コスト・太陽光発電システム		延べ床 面積
		無	有	
小規模	メインリンク（27m×41m） 【参考】日本海リッチランド	9 億円	10 億円	2,700 m ²
中規模	メインリンク 国際規格（30m×60m）	10 億円	11 億円	3,200 m ²
大規模	メインリンク（国際規格）サブリンク観客席 【参考】新潟アイスリンク	22 億円	23 億円	5,500 m ²

表 8 【参考】新宿区・東京都等がスケートリンク事業主体となった場合の補助金等の概要

区分	補助事業名	補助対象施設		補助割合
国	社会体育施設整備費補助事業	水泳プール、屋内総合スポーツ施設、武道場、屋外スポーツ施設（野球場、コートを除く）	新改築○ 改 修×	1/3
toto	大規模スポーツ施設整備助成（国民体育大会冬季大会競技会場整備事業）	冬季国体の競技会場に選定したスポーツ競技施設	新改築× 改 修○	3/4

※toto=（独）日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじの略称

4. 管理運営計画

（1） 営業形態

現シチズンプラザ・スケートリンク、及び他事例を参考に、新スケートリンクの営業形態を以下の通りとする。

1） 営業時間

①一般利用

・ 平日：12：30～19：00、土日祝日：10：00～17：00

②専用貸切利用

スケートクラブによる専用貸切、団体等による専用貸切時間帯を設ける。時間帯については、一般利用客の少ない夏季には専用貸切時間帯を増やす等、利用状況によって都度検討する。

・ 平日：4：30～12：15（製氷2回、計7時間）、19：15～24：45（計5時間、製氷2回）

・ 土日祝日：4：30～9：45（計5時間、製氷1回）、17：15～24：45（計7時間、製氷2回）

なお、予約の状況により、専用（貸切）利用時間について、24時間対応とする。

アイスリンクの特性上、昼夜を問わず製氷設備や空調設備を稼働してリンクの状態を保つ必要があり、専用利用に貸し出すことで施設の効率的な活用を図る。

2） 利用料金

①滑走料（一般利用）

・ 個人利用：大人 1,400 円、貸し靴料 500 円

※年齢によって料金設定を変えるなど、詳細については今後検討する。

②滑走料（友の会）

・ 8,500 円 / 月

③専用（貸切）リンク料

・ スケートクラブ：32,000 円 / 時間

・ その他：40,000 円 / 時間（興行利用の場合、100,000 円）

④友の会会費

・ 3,600 円 / 年間

- ⑤スケート教室
・9,000 円 /月

スケートクラブの月額料金等については、別途検討する。

また、リピート来場を促進するため、回数券やシーズンパスの導入等検討する。

3) 付帯事業

- ① 靴の提供

レジャー感覚で気軽に立ち寄った利用者や、初心者、幼児、小中高校生などを対象に、貸靴の提供を行う。貸靴数は 2,000 足程度とするが、今後検討する。

- ② 飲食・物販

利用者の利便性を高めるため、飲食・物販サービスを提供する。飲食においては、軽食程度を提供する。また、物販については手袋などの販売を行う。

- ③ 広告運営事業

内装壁面、製氷車、紙コップ側面等を活用して広告運営事業を行う。

5. 事業採算性の検討

（1）事業分担

事業分担については、主に以下の2通りが考えられる。

パターン 区分	A		B		工種・事業費
	土地 所有者様	運営 事業者様	土地 所有者様	運営 事業者様	
建設	○		○		躯体建設、外装、電気・給排水衛生設備、空調設備、太陽光発電設備 (約 800,000 千円)
リンク整備・内装	○			○	リンク設備整備、内装 (約 300,000 千円)
備品		○		○	レンタル用品、事務・管理用品、利便施設 (約 50,000 千円)

（2）年間収入の算出

1) 利用者数見込に基づく収入算出

「2.（2）レジャー・スポーツ利用のニーズ」における利用者見込数を基に算出した年間収入は、下記の通りである。

■年間収入 497,180（千円）

区 分	計算式	金額（千円）
滑走料＋貸し靴料	(@1,400 円＋500 円) × 12 万 8 千人	243,200
滑走料（友の会会員）	8,500 円 × 600 人 × 12 か月	61,200
専用（貸切）リンク料	{(32,000 円＋40,000) ÷ 2} × 12 時間 × 360 日	155,520
友の会会費	3,600 円 × 600 人	2,160
スケート教室	(9,000 円 × 45 人－80,000※1) × 9 クラス × 12 ヶ月	35,100
合 計		497,180

※1：コーチ報酬

※付帯事業としてロッカー提供、飲食・物販、広告運営等を行うが、現段階では含めない。

※専属コーチからのリンク使用料、広告収入についても、現段階では含めない。

2) 現シチズンプラザ利用者数に基づく収入算出

現シチズンプラザ利用者数（本会資料による）を基に算出した年間収入は、下記の通りである。

■年間収入 372,540（千円）

区 分	計算式	金額（千円）
滑走料＋貸し靴料 （一般利用・平日）	100 人（@1,400 円＋500 円）×240 日	45,600
滑走料＋貸し靴料 （一般利用・土日祝）	320 人（@1,400＋500 円）×120 日	72,960
滑走料（友の会）	8,500 円×600 人×12 か月	61,200
専用（貸切）リンク料	{(32,000 円＋40,000) ÷ 2} ×12 時間×360 日	155,520
友の会会費	3,600 円×600 人	2,160
スケート教室	(9,000 円×45 人－80,000※1) ×9 クラス ×12 ヶ月	35,100
合 計		372,540

(3) 年間支出の算出

既往調査資料等を基に、年間支出を以下の通り算出した。

通常の管理運営経費は、年間約 2 億 3 千万円程度が見込まれる。（利用者の増減による支出への影響は、ほぼ無いものと考えられる。）

■年間支出 232,280（千円）

区 分	内 訳	金額（千円）	備 考
賃料			※1
人件費	正社員 3 名、臨時職員 6 名（シフト制）		
水道光熱費			※2
その他	修繕費、広告費、図書印刷費、消耗品費		※2
合 計		232,280	

※1： 円/㎡（周辺賃貸オフィス賃料相場、及びマンション賃料相場を基に算出）×2,400 ㎡（集合住宅とした場合のレンタル比 75%として算出）×12 ヶ月＝ （千円）。

※2：埼玉アイスアリーナ運営事例、「鳥取市スケートリンク 検討委員会報告書（案）」参照。